

令和 6 年度
首里城公園事業年報
第 6 号



SHURIJO CASTLE PARK ANNUAL REPORT No.6
April 2024 – March 2025

表紙写真 在りし日の首里城正殿（平成 31 年 2 月撮影）

正殿は琉球王国最大の木造建築物で、首里城のなかでも王権を象徴する中心的な建物である。中国や日本の建築様式の影響を受けながら、装飾化した龍柱や正面のハの字型階段など琉球独自の意匠が随所に見られ、漆塗りが施された優美な姿から「巨大な琉球漆器」とも称されている。

裏表紙写真 首里城正殿屋根復元工事の様子（令和 7 年 3 月撮影）

令和 8 年秋の完成を目指し、首里城正殿の復元工事が着々と進められている。令和 6 年 7 月 15 日からは屋根の瓦葺き工事が開始された。赤瓦は沖縄県産の材料を使用し、多くの方々からいただいた寄附金を活用して製作された。さらに、焼失した瓦を粉碎した「シャモット」が復元ボランティアの協力によって形となり、赤瓦の一部に使われている。約 6 万枚の赤瓦が正殿の屋根を鮮やかに彩っていく。

目 次

I 名称・所在地・営業資料	3
II 沿革	4
III 管理・運営	6
(1) 組織	6
(2) 入場者数	7
(3) 取材等報道一覧	7
(4) 主な管理施設	7
IV 事業報告	8
(1) 調査研究活動	8
(2) 普及啓発活動	10
(3) 地域連携事業	20
(4) 展示紹介・その他企画展等	25
(5) 首里城公園友の会事業	31
(6) 誘客促進	36
(7) 行催事	46
(8) 見せる復興	56

I 名称・所在地・営業資料

名称 首里城公園〔沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）〕

設置者：内閣府 沖縄総合事務局

管理許可者：沖縄県

指定管理者：一般財団法人沖縄美ら島財団

所在地 〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町

電話：098-886-2020 FAX：098-886-2022

HP：<https://oki-park.jp/shurijo/>

開場時間

期 間	時 間	駐車場
4月～6月	8時30分～19時00分	8時00分～19時30分
7月～9月	8時30分～20時00分	8時00分～20時30分
10月～11月	8時30分～19時00分	8時00分～19時30分
12月～3月	8時30分～18時00分	8時00分～18時30分

※〈入場券販売締切：閉場時間の30分前〉

入場料金

	通常料金		年間 パスポート	沖縄県民割（70歳未満）※ モノレール割※ 学校割 友の会
	一般	団体 (20名以上)		
大人	400円	320円	800円	320円
中人（高校生）	300円	240円	600円	240円
小人（小・中学校）	160円	120円	320円	120円
6歳未満、70歳以上※	無 料			
身体障害者等※	免 除			

※団体は20名様以上

※モノレール（ゆいレール）のフリー乗車券（一日券・二日券）をご利用中のお客様は首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により団体料金の適用

※11月2日～4日の3日間、1月1日～1月3日の3日間、1月12日は、県民6歳以上70歳未満を対象に「沖縄県民割」を実施。

※沖縄県民の70歳以上が対象、身分証明書の提示により適用

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は、券売所窓口での提示で免除。また上記の手帳をお持ちの方1名につき、介護者1名まで無料で入場。

Ⅱ 沿革

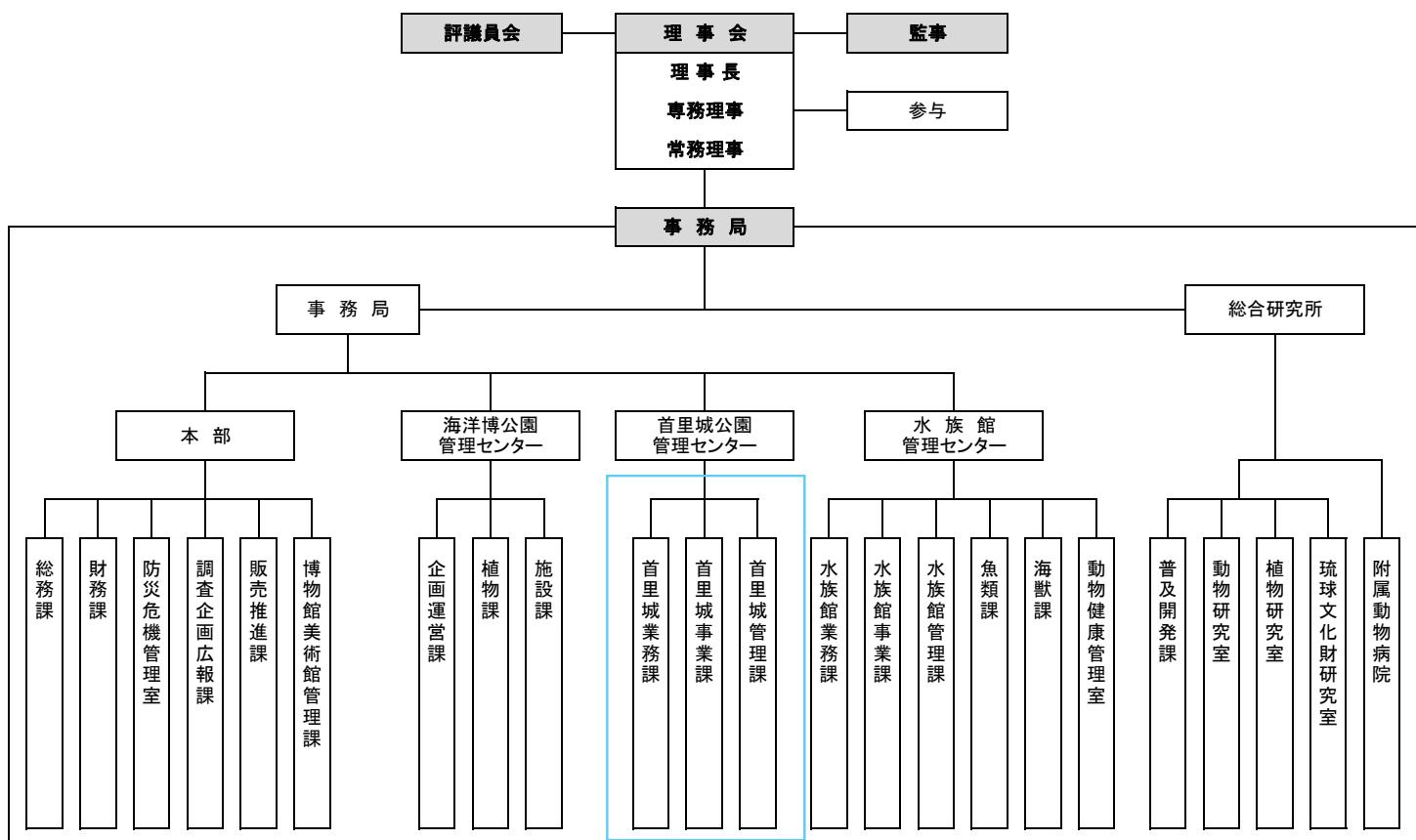
昭和 59 年	沖縄県により「首里城公園基本計画」策定
昭和 61 年	「国営沖縄記念公園首里城地区」として首里城跡地内 4ha を整備することが閣議決定 沖縄総合事務局により「国営沖縄記念公園首里城地区基本計画」が策定
	国営公園の予定地の周辺を県営公園とすることを庁議決定
	首里城公園（17.8ha）が都市計画決定
昭和 62 年	首里城公園内の国営公園部分が都市計画事業承認される 首里城公園内の県営公園部分が都市計画事業認可される。 沖縄県により「首里城公園基本設計」が策定
平成元年	首里城正殿建築工事の起工式及び木曳式を実施
平成元年	首里城正殿、復元工事に着手。南殿・番所、北殿、奉神門等も復元工事に着手
平成 4 年	首里城正殿建築工事、石積設置工事等が竣工する
平成 4 年 11 月 3 日	首里城公園一部開園
平成 7 年 3 月 15 日	入園者 500 万人達成
平成 9 年 12 月 24 日	入園者 1,000 万人達成
平成 12 年 6 月 2 日	入園者 1,500 万人達成
	7 月 22 日 九州・沖縄サミットの夕食会が首里城で行われる
	12 月 2 日 「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に園比屋武御嶽石門、首里城跡が世界遺産として登録
平成 14 年 11 月 1 日	入園者 2,000 万人達成
平成 15 年 10 月 4 日	京の内供用
平成 18 年 10 月 26 日	入園者 3,000 万人達成
平成 19 年 1 月 27 日	書院・鎖之間供用
平成 20 年 8 月 1 日	書院・鎖之間庭園供用
平成 21 年 7 月 23 日	書院・鎖之間庭園、名勝に指定
平成 22 年 4 月 1 日	淑順門供用
	12 月 5 日 入園者 4,000 万人達成
平成 26 年 1 月 24 日	黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院供用
	4 月 1 日 奥書院庭園供用
平成 27 年 4 月 25 日	入園者 5,000 万人達成
平成 28 年 3 月 28 日	銭蔵跡、廄、係員詰所跡供用
平成 29 年 3 月 31 日	北城郭園路広場供用
平成 30 年 12 月 16 日	入園者 6,000 万人達成
平成 31 年 2 月 1 日	国営沖縄記念公園首里城地区全エリア開園 東のアザナ・白銀門・二階御殿供用 世誇殿、女官居室、後之御庭、美福門供用

令和元年	10月 31日	首里城正殿を含む建物9棟が焼損
令和2年	6月 12日	首里城公園正殿遺構等の一般公開
	10月 31日	首里城復興展示室、世誇殿大型映像設備、女官居室ミュージアム ショップ球陽がオープン
令和3年	10月 27日	仮設見学デッキ完成
令和4年	10月 1日	木材倉庫、見学エリア等完成
	11月 3日	首里城正殿復元整備工事起工式及び令和の木曳式を開催
令和5年	8月 26日	正殿復元工事が行われる素屋根見学エリア 一般公開
令和5年	12月 25日	正殿の軸組建物完了
令和6年	7月 9日	首里城公園管理センター増築等工事開始

III 管理・運営

(1) 組織

一般財団法人 沖縄美ら島財団 組織図
並びに 首里城公園管理センター 業務分掌



首里城業務課

首里城公園における庶務・
経理、入場券販売、利用
サービス

首里城事業課

首里城公園における企画立案、行催事・広報・展示、普及啓発、首里城基金、首里城公園友の会、物販・料飲事業

首里城管理課

首里城公園における建物・工作物の維持管理及び修繕、植
物管理、清掃

(2) 入場者数

月	有料	無料	合計
4	80,724	5,597	86,321
5	75,254	6,692	81,946
6	65,225	4,261	69,486
7	71,924	4,623	76,547
8	84,922	5,007	89,929
9	65,935	4,247	70,182

月	有料	無料	合計
10	91,219	6,345	97,564
11	113,025	7,641	120,666
12	108,898	8,237	117,135
1	104,004	7,650	111,654
2	100,619	6,374	106,993
3	119,838	6,907	126,745
計	1,081,587	73,581	1,155,168

(3) 取材等報道一覧

カテゴリー	テレビ（全国）	テレビ（地方）	新聞（全国）	新聞（地方）	ラジオ	Web
展示	0	0	0	1	0	0
普及啓発	0	6	0	7	0	3
調査研究	0	4	0	4	0	1
イベント	0	25	1	53	0	0
復興	5	98	7	55	0	8

(4) 主な管理施設

区域	施設名	
無料区域	城郭外	首里杜館・龍潭・中城御殿跡
	城郭内	歓会門・久慶門・瑞泉門・漏刻門・広福門 首里森御嶽・系図座用物座・奉神門 右掖門・淑順門・繼世門・美福門 錢藏・木曳門
有料区域（焼失建造物含む）		正殿・南殿 番所・北殿・書院鎖之間 書院鎖之間庭園・近習詰所・奥書院 黄金御殿・寄満・女官居室・世誇殿 復興展示室・素屋根見学エリア

IV 事業報告

(1) 調査研究活動

琉装国王・王妃衣装製作の復元調査・製作

首里城火災で焼失した琉装国王・王妃衣装の製作に向けた検討および復元製作を（株）沖縄電力の助成を一部受けて行った。今年度は、下記4点について活動を行った。

- ①有識者を招聘して国王・王妃衣装の製作仕様の検討
 - ②製作者（織・紅型職人・縫製技術者）との製作調整
 - ③王妃衣装（織・紅型）の製作
 - ④王妃衣装の類似事例調査を沖縄県立博物館・美術館で実施した。
-
- ・ 有識者を招聘した検討委員会において、監修体制の確認、国王衣装仮仕立試作衣装の検討、国王・王妃衣装の仕様について議論した。
 - ・ 王妃衣装（打掛）の類似事例調査として、有識者委員、製作者らとともに沖縄県立博物館・美術館にて「金茶地衣裳（田名家寄託品）」の熟覧調査を行った。
 - ・ 王妃衣装（紅型）の製作について、有識者委員、製作者らとともに試染および色味の確認を行った。
 - ・ 王妃衣装（打掛）の製作について有識者委員、製作者らとともに色合わせ、試織を行い布地の納品を行った。

次年度は引き続き、追加の事例調査や製作技術者との協議を行い、国王衣装の製作着手と、王妃衣装の縫製に取り掛かりたい。



図1 平成4・5年度に
製作した琉装国王・王
妃衣装



図2 国王衣装仮仕立
ての検討



図3 王妃衣装類似事例調査
沖縄県立博物館・美術館



図4 王妃衣装（染）の製作
検討



図5 王妃衣装（織）の製作
検討



図6 王妃衣装（織）の布地

(2) 普及啓発活動

郷土歴史文化学習事業

目的

郷土の歴史や文化の普及・啓発を図るため沖縄県内の小・中学生及び引率教諭を対象に、首里城公園の有料施設に無料で入場できる郷土歴史文化学習事業を実施している。

来園後には学習結果報告として児童・生徒の作文、図画、新聞等を提出していただき、園内で展示・紹介することで首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、県民の首里城公園の利用促進を図り誘客につなげることを目的とする。

概要

令和6年度は、多くの小学校や中学校、その他の教育機関が郷土歴史文化学習事業制度を活用し、首里城公園を訪れて首里城や琉球王国の歴史・文化について学んだ。



解説員による概要説明の様子



学習結果報告書展示

首里城出張講座

目的

郷土歴史文化学習事業で来園を予定している小・中学校、または依頼のある高校などを対象に、学芸員による首里城に関する出張講座を実施し、郷土の歴史文化の普及・啓発と首里城公園の利用促進を図る。

概要

郷土歴史文化学習事業の事前学習として、琉球王国及び首里城の歴史概説や現在の首里城公園の見どころ、また希望に応じて学校の所在する地域と首里城の関連などの歴史解説を行った。



首里城出張講座の様子

日影台（日時計）解説会

目的

学芸員や解説員による日影台（日時計）の解説会を通して、首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、首里城公園の利用促進や誘客を目的とする。

概要

《日時》

- ①令和 6 年 6 月 21 日(金・夏至)、22 日(土)、23 日(日)

10：20～11：00、12：20～13：00

- ②令和 6 年 9 月 20 日(金)、21 日(土)、22 日(日・秋分)

10：20～11：00、12：20～13：00

- ③令和 6 年 12 月 20 日(金)、21 日(土・冬至)、22 日(日)

10：20～11：00、12：20～13：00

- ④令和 7 年 3 月 20 日(木・春分)、22 日(土)、23 日(日)

10：20～11：00、12：20～13：00

《場所》 首里城公園 日影台

総括

琉球王国時代に使用された日影台は、往時、時刻盤の傾斜角度を二十四節季ごとに変えていたことにちなみ、現在は春分・夏至・秋分・冬至の 4 回変えている。

令和 6 年度は、夏至、秋分、冬至、春分を含む合計 12 日間解説会を実施した。

解説会では、外国語 3 か国語（英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語）を含む解説書と自作できる日影台のワークシートを配布し、日影台の見学を行った。

さらに YouTube の首里城チャンネルで公開している日影台の動画についても、見学の際に案内した。



夏至



秋分



冬至



春分

首里城講座

目的

本講座を通じて、首里城に関する歴史・文化を主に県民に向けて普及啓発し、首里城公園の利用促進と満足度向上を目的とする。

概要

《期間》 令和6年11月16日（土）、23日（土）、30日（土）、12月14日（土）

《時間》 毎週土曜日 10:30～12:00

《場所》 首里城公園 首里杜館 レビューホール

《定員》 20人

総括

今期は「首里城の祭祀儀礼」をテーマに、百人御物参、冊封儀礼、正月祭事などについて、学芸員や専門家を講師に招き、全4回の講座を実施した。これにより、首里城の歴史・文化への理解を一層深めることができた。

・【第1回】 「首里城の御嶽と神女の祭祀行事～百人御物参を中心に～」

講師：新里涼子（株式会社国建 まち・しまデザイン部 主席研究員）

首里城公園のイベント「百人御物参」の企画等に関わった国建の主席研究員である新里涼子氏から、「百人御物参」を実施するにあたり、首里城内の祭祀儀礼や御嶽の調査、他の地域での伝統的儀礼との比較検討等、調査研究を行い、その過程でわかったことや判明していないことを含めた解説があった。定員を超える申込があり、参加者の関心も高く、質疑応答も活発に行われた。

・【第2回】 「『冊封使行列図』とその背景」

講師：大城直也（沖縄県立博物館・美術館 学芸員）

沖縄県立博物館・美術館で歴史分野を担当する学芸員・大城直也氏が講義を行い、「冊封」がなぜ行われたのか、「冊封」がどのようなものなのかを往時の琉球の置かれた立場や社会情勢等、先行研究を取り上げ、丹念に歴史的背景を探る内容であった。『冊封使行列図』を製本した資料を置き、全図を見られるようにした。併せて沖縄県立博物館・美術館で実物資料の展示が行われていることの案内もあった。

・【第3回】「唐衣裳について」

講師：山田葉子（那覇市歴史博物館 主任学芸員）

琉球国王が儀礼の際に着用していた「唐衣裳」について、「唐衣裳」とは何か、御後絵に描かれた唐衣裳、近代の写真資料による唐衣裳等、調査研究に基づく丁寧な解説があった。また唐衣裳そのものだけではなく、唐衣裳やその端切れを利用してつくられたバッグや小物入れ等、関係資料についての紹介もあった。

・【第4回】「首里城の正月祭事（朝拝御規式）について」

講師：上江洲安亨（一般財団法人沖縄美ら島財団 副参事）

首里城の正月祭事である「朝拝御規式」について、琉球王国時代に書かれた儀礼に関する『図帳 当方』『図帳 勢頭方』を基に、儀式の流れや国王や家臣の動き、飾る道具等について解説していた。首里城公園で行った再現イベントの画像を交えた分かりやすい説明があった。質疑応答は時間を超過するほど活発に行われ、参加者の関心がうかがえた。



第1回



第2回



第3回



第4回

首里城公園有料ガイドツアー

目的

首里城公園の解説員によるガイドツアーを行い、お客様に琉球王国や首里城の歴史・文化、建造物等について解説紹介を実施する。特に正殿等の再建が着々と進む今だからこそ見られる、感じられる首里城の新たな魅力や再建に向けた状況を紹介し、首里城復興に向けた気運を高め、首里城への理解を深めることを目的とする。

概要

《日時》

令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）

定 時：8:15～9:15、9:15～10:15、16:00～17:00

貸 切：10:00～15:00 の範囲で、参加者が希望する時間を調整して開催

《場所》 首里城公園内 （受付）首里杜館 B1F

・復興・御開門式見学コース（8:15）

首里杜館→守礼門→木曳門→奉神門・御開門式（見学）→下之御庭→木材倉庫・加工場・原寸場→素屋根→世誇殿

・復興・歓会門コース（9:15/貸切ツアーア）

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→歓会門→龍樋→瑞泉門→日影台→広福門→大龍柱補修展示室→木材倉庫・加工場・原寸場→素屋根→世誇殿

・「みせる復興」コース（16:00）

首里杜館→守礼門→歓会門→瑞泉門→漏刻門→広福門→奉神門→木材倉庫・加工場・原寸場→素屋根→世誇殿

・復興・木曳門（バリアフリー）コース（※参加者との相談）

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→木曳門→京の内→下之御庭→大龍柱補修展示室→奉神門→木材倉庫・加工場・原寸場→素屋根→世誇殿

総括

定時ツアーアは1日3回、貸切ツアーアは10時～15時の間で参加者の希望時間に応じて調整を行った。（※小学生以下無料、保護者同伴）

ツアーアではイヤフォンガイドを活用して首里城や琉球王国の歴史と文化の概要を紹介しながら、参加者にわかりやすく案内した。着々と建設が行われている首里城正殿に関しては木材倉庫・加工場・原寸場と素屋根の見学エリアもご案内し、復興が進む様子を紹介した。見学中はこまめに参加者の様子を確認し安全に回れるように声かけを行い、質問などにも対応した。

素屋根の見学エリアがオープンしたことにより間近で首里城正殿が造られている様子を紹介できるようになり、使用されている木材や技法、復元の工程などについても解説を行つ

た。アンケートにおいても概ね高評価を得られた。

参加者数（人）



ガイドツアーの様子

あがり
東 のアザナ時報解説・体験会

目的

琉球王国時代、漏刻門や日影台で計測した時間を東のアザナや西のアザナに伝え、そこから鐘などをついて首里城内外へ時間を知らせていたことにちなみ、毎日正午に来園者が銅鑼を叩いて時間を知らせる体験会を行う。琉球王国時代の歴史や文化についての理解を深める機会とする。

概要

《日時》

令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）※天候不良時を除く毎日実施
11：55～12：05

《場所》 首里城公園 東のアザナ

総括

首里城公園の解説員が11：55頃から、かつて城内外へ時間を知らせる鐘楼が設置されていたと伝わる東のアザナで琉球王国時代の時刻に関する解説を行った。あわせて希望の方にハチマチを着用してもらい、正午を知らせるドラを叩く体験会を実施した。



時報解説・体験会の様子

歴史植物ガイドツアー

目的

首里城公園の施設やその場所に関する歴史的な解説と、首里城公園内に植栽されている植物に関する解説を実施し、首里城公園の普及啓発及び満足度向上を目的とする。

概要

《日時》

令和7年3月8日（土） 10：00～11：30、14：00～15：30
令和7年3月9日（日） 10：00～11：30、14：00～15：30

《場所》

首里城公園内

守礼門－園比屋武御嶽石門－歓会門－銭蔵－北城郭地区－瑞泉門－漏刻門－広福門－下之御庭－大龍柱修復展示室－首里森御嶽－奉神門－復興エリア（木材倉庫・素屋根）－東のアザナ－世誇殿

総括

学芸員と植物担当のスタッフが参加者と一緒に園内をまわりながら首里城公園内の植栽について解説を行った。

学芸員による解説では、首里城の歴史や琉球王国の概要、門や城壁、建造物の用途について解説し、琉球王国時代の美術工芸品に見られる植物モチーフについても説明した。

植物担当スタッフによる植物解説では、公園内の植栽が資料や証言に基づいて行われていることを説明した。また、植物の名前の由来や見どころ、花の開花時期などについて解説し、盆栽の手入れや管理方法についても紹介した。参加者は熱心に観察しながら、耳を傾け、質疑応答も活発に行われた。



歴史植物ガイドツアーの様子

(3) 地域連携事業

フラワーロード事業

目的

都市公園及びその周辺地域に対する県民の意識を高め利活用の効果を促進するため、那覇市城西小学校区まちづくり協議会が実施する「龍潭通りの清掃活動」等と合同で都市公園等の愛護活動を展開する。

概要

- 《期間》 令和6年10月20日（日）、令和7年3月19日（水）
《時間》 9:30～11:00
《場所》 首里城公園内 龍潭及び龍潭通り、崎山町側道路壁
《連携団体》 ヒルトンホテルグループ、琉球銀行、郵便局、那覇市城西小学校区まちづくり協議会、JA首里支店、沖縄県電気管工事業協会、協力会社、財団職員

総括

10月に那覇市城西小学校区まちづくり協議会と共に、龍潭周辺の清掃美化活動およびプランターへの草花植付け（フラワーロード）などの美化活動を実施した。3月は電管協創立記念事業の一環として、崎山町側道路の樹木剪定やプランターへの草花植付け作業を実施した。

作業開始前に主な作業内容の説明を行い、安全管理、熱中症対策に注意して作業を行うよう参加者に周知した。清掃活動は、龍潭周辺の落葉清掃や石積み除草、ごみ拾い、雑木撤去、高木剪定、プランターへの草花植付け等を実施した。また、草花植付け作業では、プランター100鉢へペンタスやパンジーの植え付けを行い、龍潭通り（県道）や守礼門前などに設置し、フラワーロードとして沿道の景観向上を図った。参加者には、総合研究センター（植物研究室）および（一社）沖縄県造園建設業協会より提供いただいたハイビスカス、サンダンカ、ホウライカガミなどの苗木を配布した。

この活動を通して、参加者に都市公園愛護への意識の高揚を図ることができ、また地域住民の参加による大規模な清掃を行うことで、安全で憩いのある環境づくりを行うことができた。



令和6年度 フラワーロード事業 風景

首里城への美御水（ヌービー）の奉納

目的

かつて首里城へ献上され、国王の年始清め儀式「お水撫で(ウビナデー)」などに用いられていたのが、国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」で汲まれた水である。この「大川御水取りの儀式」は、首里王府の伝統的な年中行事として継承されてきたが、長らく途絶えていた。平成10年に120年の時を経て本儀式が復活し、現在に至っている。

本行事は、地域住民である首里の方々と共に琉球文化の心と想いを伝え、来る年の人々の健康と多幸を願い、首里城及び地域の平和と発展推進を祈念し、更に次世代への固有文化継承を目的としている。

概要

《期間》 令和6年12月22日（日）

《時間》 15:00～15:30

《場所》 旧円覚寺総門前及び守礼門前

《連携団体》 首里観光案内所／辺戸区お水取り保存会／首里トウンジムイ参道ゆい会／首里琉染／沖縄首里女性活躍ロータリー衛生クラブ

総括

首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」と「円覚寺奉納」が行われた。首里城公園内では、旧円覚寺総門前において「奉納の儀」が実施された。イベント終了後、12月22日（日）から1月3日（金）の期間、首里杜館1階案内カウンター横で「若水」を展示した。



旧円覚寺「奉納の儀」



「若水」の展示

令和6年度 「春の御城まつり～首里手作り市～」

目的

地域と連携した「地域のお祭り」として、「春の御城まつり～首里手作り市～」を開催することで、地域団体や教育機関、地元企業との結びつきを強化し、「地域に親しまれる公園」作りを通して首里地域の活性化に寄与することを目的とする。

概要

- 《期間》 令和7年3月22日（土）～23日（日）
《時間》 8:00～17:00
《場所》 首里城公園全域及び首里城公園周辺の龍潭通り店舗など
《連携団体》
 - ・NPO法人首里まちづくり研究会・那覇市城西小学校区まちづくり協議会
 - ・那覇伝統織物事業協同組合・一般社団法人 那覇市観光協会・首里の朝市実行委員会・首里城公園友の会・沖縄県酒造組合・一般社団法人 泡盛マイスター協会・山原島酒之会・有限会社 高江洲酒販・合同会社 伊波酒類研究所
《連携企業》
 - ・首里染織館 suikara・首里琉染・新垣養蜂園・イベント.ぶっちゃん

総括

初の試みとして「首里の朝市」や「飯フェス」と連携し、有料区域への誘客を目的とした『春の御城まつりキャンペーン』を実施。地域と公園の回遊性を高め、相互活性化を図った。

また、地域団体と連携して過去最多の13プログラムを実施した。「首里の朝市」や「泡盛オーナークション」のほか、持ち込みイベントの「飯フェス」も、春の御城まつりの一環としてチラシで広報できたことで、イベントの内容が充実し、集客にもつながった。

新たな取り組みとして、那覇伝統織物事業協同組合と連携した「はた織りワークショップ」、首里まちづくり研究会と連携した「酒都さんぽ」と「まちの記憶展」を実施した。「はた織りワークショップ」は、かつて大奥であった後之御庭の世誇殿という格式ある空間にふさわしく、首里織の魅力を伝える内容で、海外観光客にも好評だった。

また、「酒都さんぽ」は、泡盛ボトルオーナークションの関連プログラムとして実施され、首里まちづくり研究会のいのうえちず氏が、琉球王国時代から続く首里の泡盛の歴史をテーマに、大人限定の散策ツアーを行った。



「首里の朝市」



「サンゴ染め体験」



「はた織りワークショップ」



「ミツバチ教室」



「まちの記憶展」



「首里こども旗頭」



「飯フェス in 首里城」



「首里城復興解説ツアー」



「漆(沈金技法)体験教室」



「泡盛オークション」



「端材 de つくろう」



「日影台解説会」



「酒都さんぽ」

酔い、宵いイベント

目的

首里の酒造業者や地域のお店と協力し、琉球王国時代から続く「酒どころ首里」の魅力を体験できるイベントを開催。泡盛文化の魅力を広めるとともに、地元の人と観光客の交流を深め、地域のつながりを強めることを目指す。

概要

- 《期間》 令和6年9月22日（日）
- 《時間》 17:00～21:30 (L. 0. 21:00)
- 《場所》 首里杜館 1F 無料休憩所、展望デッキ、レビューホール、芝生広場がじゅまる周辺、レストラン首里杜
- 《出店者》 合計 12 団体

総括

会場となった首里杜館の無料休憩所（ホール）や展望デッキ、レビューホール、芝生広場に設けた席は、イベント開始直後に満席となり、事前に満席時の対応として準備していたレストラン首里杜の座席も開放して対応した。各会場は終始多くの来場者で賑わい、用意されたフードやアルコール類が完売するなど、来場者からの高い反響が見受けられた。本イベントでは、首里の泡盛三蔵元をはじめ、クラフトビールのウォルフブロイ、ワインのパポテペパン、BARバースデーなど、地域の多様な事業者が出店。出店者の個性や提供商品が持つ魅力と、首里城という特別な場所での体験が相まって、来場者にとって印象深い機会となった。



多くの人で賑わったホールの様子



多くの人で賑わったホールの様子



テラス席の様子



レストラン首里杜の様子

(4) 展示紹介・その他企画展等

屋外展示・復興展示室・その他企画展等

1. 屋外展示

令和8(2026)年の首里城正殿完成に向けて着々と工事が進められており、その過程を「見せる復興」として来園者が間近で見学できるように見学エリアが設けられている。令和5年8月には素屋根が完成し、その内部で実際に正殿が造られている様子を見学することができる。

1) 木材倉庫・加工場・原寸場

奉神門をくぐると、正殿を中心に北殿や南殿を含む御庭全体が描かれたグラフィックが現れる。このグラフィックは「見せる復興」の一環として木材倉庫壁面に描かれている。

木材倉庫は3階建ての建物であり、1階は首里城正殿の御用材の搬入と加工を行っている。2階は加工された木材を保存管理する場所である。さらに中2階には、正殿正面の唐破風や瓦を敷いた模型等が展示され、見学デッキの北側に面した窓から内部の様子を見学できる。



木材倉庫見学デッキ

2) 素屋根

木材倉庫・加工場・原寸場と一部繋げて、素屋根が建てられている。素屋根は1階から3階まであり、各階毎にガラス張りの窓越しに作業の様子が見学できる。首里城正殿は3階建てであるため、各階毎に進捗状況を見ることが可能、特に屋根部分等完成してからだと間近に見学することが難しい位置から、見学することができる。

また素屋根の東側には、首里城正殿中の「御差床」の1階、2階をそれぞれほぼ実際の位置に合わせて描いた壁面グラフィックが見られ、来園者の理解を深める工夫が施されている。



素屋根外観



素屋根内部

3) 見学デッキの「正殿の復元過程」グラフィック

見学用デッキの西側フェンスには、石材の搬入、木材の加工、大龍柱の建造、屋根瓦を葺く様子、壁面や柱の彩色・漆塗装など、平成の首里城正殿復元の過程が描かれており、復元工事の基本的なプロセスをイメージすることができる。



平成の正殿復元過程グラフィック



龍頭棟飾鉄骨



龍頭棟飾残存物

4) 龍頭棟飾鉄骨・飾瓦破片、首里城正殿の石高欄

首里城正殿の大棟（おおむね）の南北両端と中央の唐破風（からはふ）の上に設置されていた大きな龍の飾瓦や、首里城正殿の正面と中央の階段に設置されていた石高欄の残存物が展示されている。火災の影響で破損したもので、在りし日の首里城正殿を物語る重要な残存物である。

2. 復興展示室

御内原エリアにある復興展示室内部には、壁面に沿ってパネルが設置され、首里城復興に向けた取組や、平成と令和の復元の比較として「①扁額」「②瓦」「③防火対策」の3項目に焦点を当てて、違いが分かりやすく解説されている。

また、首里城正殿・龍頭棟飾の石膏や唐破風の額木模型が展示され、間近で彫の深さ、精巧さを見ることができる。

復興展示室の中央には、火災前まで首里城正殿の屋根から睨みをきかせていた獅子瓦、正殿の石階段を飾っていた石製の獅子、石高欄等の石彫刻の残存物の一部を展示している。

首里城正殿の梁に使用されたオキナワラジロガシの輪切り標本を沖縄県から譲り受け展示設置しており、使用されている建材の特徴を理解する一助となっている。



龍頭棟飾の模型



復興展示室のパネル展示や残存物展示

3. 企画展ほか（令和6年4月～令和7年3月）

ガイダンスホールを中心に、パネル展示を行った。

・郷土歴史文化学習事業成果物展示

会期：4月1日（月）～8月2日（金）

場所：首里杜館 ガイダンスホール

使用区域：県営区域

内容：郷土歴史文化学習事業で首里城を見学した学校から送られてきた報告書（作文・絵画・新聞等）を学校ごとに、2週間ずつ展示した。

・首里城公園古写真展「森政三コレクション」

会期：8月3日（土）～8月30日（金）

場所：首里杜館 ガイダンスホール

使用区域：県営区域

内容：戦前の守礼門修理工事、戦後の守礼門・園比屋武御嶽石門の復元工事に関わった文部技官・森政三氏が撮影した首里城周辺の写真パネルとスライド形式にしたものをモニターで展示。

・首里城基金 被災資料の修理について

会期：8月3日（土）～令和7年3月31日（月）

場所：首里杜館 ガイダンスホール

使用区域：県営区域

内容：首里城基金を使い、2019年の火災で被災した美術工芸品の修理が行われていることについてパネルで紹介。2～3か月毎に対象となる工芸品を変えて展示了。

・在りし日の首里城

会期：8月31日（土）～10月18日（金）

場所：首里杜館 ガイダンスホール

使用区域：県営区域

内容：平成に復元された在りし日の首里城のすがたを振り返り、パネルで展示紹介した。

・首里城公園企画展「泡盛をめぐる歴史と文化」

会期：10月19日（土）～12月27日（金）

場所：首里杜館 ガイダンスホール、世誇殿

使用区域：県営区域、県国営区域

内容：琉球王国時代に生まれた泡盛について、製造体制や外交との関わり等泡盛を通して見えてくる歴史や文化の展示を行った。世誇殿では、映像とパネルによる展示、ガイダンスホールではパネル展示を行いった。またHPではダイジェスト版を掲載し、自動翻訳機能を使用することで他言語表示も行った。

・首里城のお正月

会期：12月28日（土）～2月7日（金）

場所：首里杜館 ガイダンスホール

使用区域：県営区域

内容：琉球王国時代の新年のお祝いは首里城正殿や御庭を舞台に行われていたことを中心に紹介し、火災前に行っていた正月イベントや正月に使用される飾り

道具についてパネル展示した。

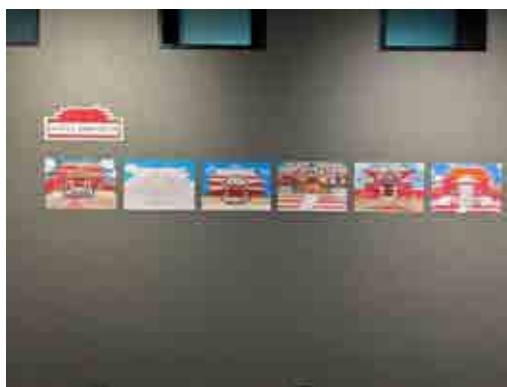
・首里城の植物 デザイン展「守礼の花道」、首里城の植物たち（映像）上映

会 期：2月8日（土）～3月31日（月）

場 所：首里杜館 ガイダンスホール、世誇殿

使用区域：県営区域、県国営区域

内 容：首里城公園内を花で装飾した、首里城公園「華みぐい」の開催にあわせ、花や植物をモチーフにした琉球王国時代の美術工芸品を紹介した。ガイダンスホールでは展示パネルによる解説を行い、世誇殿では映像を用いて紹介した。



郷土歴史文化学習事業成果物展



森政三コレクション展



首里城基金～被災資料の修理につ



在りし日の首里城展



泡盛をめぐる歴史と文化展



首里城のお正月展



首里城の植物 デザイン展「守礼の花道」

(5) 首里城公園友の会事業

首里城公園友の会事業報告

首里城公園友の会では、令和 8 (2026) 年の首里城正殿完成に向け、首里城復興の機運を高めるため琉球・沖縄の歴史や文化に関する講演会、首里城見学会、史跡巡見などを専門の講師を招聘し開催している。また、将来の首里城の修復に備えイヌマキ育樹祭も行っている。各種の事業を通して、首里城公園を拠点に、首里城公園への来園を促進し、地域に根ざした普及啓発活動を行った。

1. 首里城見学会

(1) 「夏休み親子向け首里城見学会」

開催日：令和 6 年 8 月 12 日（月・振替休日）

講 師：新里涼子氏（株）国建 まち・しまデザイン部

場 所：首里城公園（有料区域含む）

(2) 「日暮れからの首里城見学会」

開催日：令和 6 年 9 月 28 日（土）

講 師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）・平良啓氏（（株）国建 常務執行役員）

場 所：首里城公園（有料区域含む）

(3) 首里城復興祭特別見学会 ※（一財）沖縄美ら島財団連携

開催日：令和 6 年 11 月 2 日（土）、3 日（日）※1 日 2 回、計 4 回開催

講 師：上江洲安亨氏（沖縄美ら島財団）

高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）・平良啓氏（（株）国建 常務執行役員）

場 所：首里城公園（有料区域、木材倉庫・素屋根内部）

(4) 春の御城まつり「復興特別見学会」 ※（一財）沖縄美ら島財団連携

開催日：令和 7 年 3 月 23 日（日）※1 日 2 回開催

講 師：平良啓氏（（株）国建 常務執行役員）

場 所：首里城公園（有料区域含む）

2. 首里城周辺めぐり

(1) 「三ヶ寺を中心に首里あるき」

開催日：令和 6 年 10 月 20 日（日）

講 師：喜納大作氏（首里城研究会会員）

場 所：首里城公園および周辺（金城町、当蔵町）

(2) 「玉陵と山川陵—二つの玉陵とその周辺の史跡・旧跡—」

開催日：令和 6 年 12 月 14 日（土）

講 師：鈴木悠氏（那覇市歴史博物館主任学芸員）

場 所：首里城公園および周辺

3. 那覇めぐり及び地域めぐり

(1) 「久米村とは何か～まちあるき編～」

開催日：令和6年10月26日（土）

時 間：10:00～12:00

講 師：前田舟子氏（沖縄大学准教授）

場 所：那覇市久米

(2) 那覇めぐり「小禄（うるく）今昔 あっちゃーあっちゃー」

開催日：令和7年3月9日（日）

講 師：伊集守道氏（那覇市歴史博物館主任学芸員）

場 所：那覇市小禄

4. 文化講演会

(1) 総会記念講演会

開催日：令和6年6月23日（日）

テーマ：「米国から返還された流出文化財—経緯・その特徴・これから—」

講 師：瀬地龍磨氏（沖縄県教育庁文化財課）

場 所：沖縄県立博物館・美術館（博物館講座室）

場 所：沖縄県立博物館・美術館（博物館講座室）

(2) 首里城文化講演会

開催日：令和7年3月20日（木・祝）

講 師：田名真之氏（沖縄県立博物館・美術館 元館長）

場 所：沖縄県立博物館・美術館（博物館講座室）

5. コンパクト講座

(1) 「泡盛今昔—食文化・琉球料理・酒—」

開催日：令和6年8月31日（土）11:30～14:00

講 師：萩尾俊章氏（琉球泡盛研究家・沖縄民俗学会会長）

場 所：琉球料理「美榮」

(2) 「美榮」の建築と沖縄の伝統的木造建築

開催日：令和6年9月21日（土）17:30～20:00

講 師：平良啓氏（株国建 常務執行役員・当会副会長）

場 所：琉球料理「美榮」

(3) 「首里城と首里三箇が育んだ泡盛～錢蔵・祭祀・酒器～」

開催日：令和6年11月10日（日）10:00～11:30

講 師：萩尾俊章氏（沖縄民俗学会会長）

場 所：首里杜館レビューホール

- (4) 「琉球の外交文書集『歴代宝案』を多くの人に伝えたい！
—沖縄県教育委員会の編集事業の歩みと”これから”—」
- 開催日：令和7年1月18日（土）
講 師：野村直美氏（沖縄県教育庁文化財課史料編集班 歴代宝案編集担当）
場 所：首里杜館レビューホール

6. 沖縄本島及離島（バスツアー）

- (1) 史跡巡見南部コース「久高島—シマの祈りー」&「東方」
- 開催日：令和6年12月7日（土）
講 師：大城秀子氏（沖縄県文化協会事務局次長）
場 所：南城市久高島および与那原町
- (2) 史跡巡見中部コース「宜野湾集落探訪」
- 開催日：令和7年12月22日（日）
講 師：平敷兼哉氏（宜野湾市立博物館館長）
場 所：宜野湾市
- (3) 史跡巡見中部コース「うるま市の歴史発見！バスツアー～グスクを中心に～」
- 開催日：令和7年1月11日（土）
講 師：伊波和輝氏（うるま市企画部 プロジェクト推進2課）
場 所：うるま市
- (4) 離島ツアー「北大東島巡見」
- 開催日：令和6年11月2日（土）～3日（日）
講 師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）
場 所：南大東島

7. イヌマキ育樹祭（場所：国頭村辺野喜ダム附近）

- (1) 令和6年7月20日（土）
(2) 令和7年3月1日（土）

8. 漆体験教室（沈金技法）※（一財）沖縄美ら島財団連携

- (1) 首里城公園 春の御城まつり～首里手作り市～（沖縄美ら島財団連携）
- 開催日：令和7年3月22日（土）
講 師：高嶺瑞貴氏（（一財）沖縄美ら島財団）
場 所：糸団座・用物座

9. 首里城研究会

- (1) 第174回 令和6年5月18日（土）
テーマ：「首里城研究26号合評会」
- (2) 第175回 令和6年7月27日（土）
発表①：平川信幸氏
テーマ：「『孔子及び四聖配像』の来歴について—鎌倉芳太郎の琉球芸術調査の再検討—」
発表②：上江洲安亨氏
テーマ：「琉球関係染織作品における混色表現の色材使用傾向について」
- (3) 第176回 令和6年10月12日（土）
発表①：伊從勉氏
テーマ：「琉球政府文化財保護委員会初発の建造物修理と復元：仲座久雄と森政三の園比屋武御嶽石門と守礼門」
発表②：南出眞助氏
テーマ：「那覇市久茂地川河道の再検討」
- (4) 第177回 令和6年12月21日（土）
発表①：伊從勉氏
テーマ：「琉球政府文化財保護委員会が関与した戦後初めての旧国宝木造建造物復元：仲座久雄と森政三の守礼門復元について」
発表②：安里進氏
テーマ：首里城正殿欄干の親柱獅子像復元の考え方について
- (5) 第178回 令和7年2月15日（土）
発表①：金城善氏
テーマ：『久志間切針図』と『国頭間切針図』について
発表②：幸喜淳氏
テーマ：久志間切弁柄の研究報告～顔料及び塗装方法について～

10. 「首里城研究」（学術誌）の発行

「首里城研究」 No.27 令和7年3月31日発行

- (1) 伊從勉氏/「首里城正殿構造の不思議：清代末期の正殿に残る中国南部「穿闕式構造」楼閣の痕跡」
- (2) 金城善氏/琉球藩王「冊封ノ詔」と三つの「琉球藩印」の顛末
- (3) 仲座久宜氏/続貝窓のある風景—益子参考館の事例から—
- (4) 平川信之氏/デジタル化琉球芸術写真（鎌倉芳太郎撮影）による御後絵研究の表具形式の考察
- (5) 真栄平房昭氏/琉球人の「遺言書」を読み解く

11. 友の会会報の発行

- (1) 第128号 令和6年7月25日発行
- (2) 第129号 令和6年10月31日発行
- (3) 第130号 令和7年1月10日発行
- (4) 第131号 令和7年3月31日発行

12. 運営委員会

第1回 開催日：令和6年4月29日（月・祝）

　　テーマ：「友の会事業報告及び決算報告について」

第2回 開催日：令和6年5月18日（土）

　　テーマ：「友の会R6年度理事会・総会に向けて（事業案及び予算案について）」

第3回 開催日：令和6年6月29日（土）

　　テーマ：「会報128号発行に向けて、イヌマキ育樹祭について、ほか」

第4回 開催日：令和6年9月15日（日）

　　テーマ：「会報129号発行に向けて、友の会今後の事業について」

第5回 開催日：令和6年12月14日（土）

　　テーマ：「会報130号発行に向けて、友の会事業進捗状況及び今後の事業について」

第6回 開催日：令和7年3月20日（木・祝）

　　テーマ：「会報131号の発行に向けて、ほか」

13. 会員数（令和7年3月31日現在）

個人会員：738人

法人会員：33社

(6) 誘客促進

首里城復興イベント(沖縄県連携事業)

目的

首里城への来訪を推進し、その着実な復興の状況を共有するため、首里城の復元及び象徴される琉球の歴史・文化を「観て」「学んで」「楽しむ」機会を創出し、その魅力を再確認するイベントの実施を目的とする。沖縄県と連携し「首里城復興イベント」として園内でのナイトタイムコンテンツやワークショップを実施する。

概要

【昼の部】首里城復興ツアー＆ものづくり体験（全6日間）	9:00～16:30
-----------------------------	------------

12月7日(土)～8日(日)

12月14日(土)～15日(日)

12月21日(土)～22日(日)

【内容】

首里城復興に関する謎解きクイズを楽しみながら園内を巡る首里城周遊ツアー実施。また、首里城復興展示室では、正殿再建工事で使用された木材の端材を活用したキー ホルダー作りの体験イベントが実施された。



首里城園内周遊ツアー



ものづくり体験

【夜の部】首里城ファンタジアナイト（全8日間）	18:40～21:30
-------------------------	-------------

12月13日(金)～16日(月)、12月20日(金)～23日(月)

【内容】

琉球古典芸能の演舞とプロジェクションマッピングを組み合わせた公演をはじめ、「万国津梁の鐘」の銘文を光で表現したイルミネーションや、琉球王国時代の衣装を着た案内人による復元工事エリアの見どころ紹介など、普段とは異なる夜の首里城の魅力を楽しめる体験イベントが実施された。



琉球古典芸能の演舞×プロジェクションマッピング



万国津梁の鐘 光のイルミネーション

第3回泡盛古酒ボトルオークション

目的

日本遺産として琉球料理などと共に認定された「泡盛」は、琉球・沖縄の文化の重要な要素である。その泡盛についての文化を語り合う時間・空間を創出し、県民や観光客に琉球泡盛の魅力を知ってもらう機会として、泡盛ボトルオークションを首里杜館レビューホールにて実施する。

概要

《期間》ボトル募集：2月7日（金）～24日（月・祝）

品評会：3月9日（日）

本番：3月23日（日）

《場所》品評会：那覇事務所 2階会議室

本番：首里杜館 1階 レビューホール

《主催》一般財団法人沖縄美ら島財団

《運営委託》株式会社ハレ

《協力団体》山原島酒之会、泡盛マイスター協会、沖縄県酒造組合

総括

今年度の泡盛古酒ボトルオークションは、各項目において前年度を上回る成果を上げた。公募ボトル数は116本（前年度：92本）で前年度比+24本となった。

オークション本番については、60本が出品され、落札ボトル数は49本、参加者数は53人で前年度比+11人、落札額合計は754,500円となった。

これまでのオークションに比べ、復帰前のビール瓶詰めの希少な泡盛（16本）や、廃業した酒造所のボトル、当時とは製造元が異なるといった背景を持つ希少品などが多数集まった。

品評委員からも「泡盛の歴史的資料として価値の高いボトルであり、その価値を理解する人の手に渡ってほしい」との意見が出るなど、関係者を唸らせる内容であった。午前中の出品ボトル展示公開でも、新聞やホームページ、SNSで情報を得て、オークションには参加しないものの、希少ボトルを見に来場する者も多く見られた。

出品ボトルは20～30年物の飲み頃のボトルから、40～50年が経過した希少ボトルまでバランスよく揃い、オークションの醍醐味である競りによってスタート価格から値が上がるボトルが多く見られた。



品評会の様子



出品ボトルを品評する品評委員



オークション当日の様子



出品ボトル展示



オークション本番の司会進行



オークション本番の様子

首里城 MICE

目的

首里城公園の利活用として MICE を受入実施し、魅力創造、琉球・沖縄の歴史・文化・芸術等を情報発信し誘客促進するとともに、沖縄県の観光振興に寄与する。今後は、首里城公園における MICE プランの受け入れ体制の確立や自主事業として実施できるコンテンツを構築、展開していく。

概要

① 令和 6 年 12 月 3 日（火）17：00～21：00

「世誇殿での現代版王朝うとういむちディナー」琉球王朝＝古都の知財を活かす沖縄 M・I 実証ワーキンググループ（事務局：株式会社日旅産業、運営：株式会社 DMC 沖縄）

② 令和 7 年 1 月 24 日（金）～27 日（月） 18：45～21：20

主要会場：歓会門、瑞泉門下、広福門前、奉神門、有料区域

「見せる復興プロジェクト～御城のタベ～彩の首里城プロジェクトマッピングと琉球芸能～」クラブツーリズム株式会社

総括

令和 6 年度は、2 件の MICE イベントを受け入れ、実施した。

「世誇殿での現代版王朝うとういむちディナー」は、主催者と密に連絡を取りながら、実施可能な企画・台本の作成に協力した。参加者は琉装で来園し、首里城のロケーションに溶け込む様な非日常感を味わい、首里城解説員によるガイドツアーにより首里城の歴史や令和の復興を学び、世誇殿での琉球芸能鑑賞、現代版宮廷コース料理と泡盛のペアリングを体験することで、オリジナルかつ特別感溢れる宴となった。英語通訳が帯同し、ガイドやパーティーでの通訳を行うことで、インバウンド向けに実施できる可能性も感じた。

「御城のタベ」は 3 年連続の開催となり、首里城でのナイトタイムコンテンツの需要の高さが伺えた。今年度は、一部に財団保有のプロジェクトマッピングコンテンツを活用する実施検証を行い、問題点の把握と対策ができ、安全管理の面では、財団内の防災危機管理室協力のもと、設営状況の確認等隨時安全対策を実施することができた。平田大一氏監修の琉球芸能は、空手や琉球舞踊に加え、当蔵青年会による旗頭演舞があり、首里杜館での物販には、財団が紹介した朝市実行委員会や suikara の出店もあり、首里地域の伝統芸能や物産の魅力が伝わる内容となった。



世誇殿での現代版王朝うとういむちディナー



御城のタベ（財団プロジェクトマッピング）

お城 EXPO2024

目的

首里城公園は国内最大級の城の祭典「お城 EXPO」へ出展し、正殿復元工事の進捗や、2026年完成予定の正殿の PR を行い、首里城公園来訪の意欲を高める。また、県内各城郭と連携することで、県内城跡の周遊を促進し、城郭文化の振興を図ることを目的とした。

概要

《期間》令和 6 年 12 月 21 日（土）、22 日（日）

《場所》パシフィコ横浜ノース

《連携団体》（一社）今帰仁村観光協会、（一社）読谷村観光協会、（一社）うるま市観光物産協会、（一社）中城村観光協会、（一社）浦添市観光協会、（一社）沖縄市観光物産振興会、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県立博物館・美術館

総括

首里城公園ブースは、終始多くの来場者で賑わい、復元中の首里城への高い関心がうかがえた。ブースでは復元の進捗の様子や平成と令和の復元の違いを解説したパネルを設置し、来場者へ復元の最新状況を提供した。アンケートやクイズの景品として提供した正殿復元工事の端材は大変好評で、「貴重なものをもらえてうれしい」との声が多く寄せられ、復興に対する理解を深めることができた。また、復元工事エリアや正殿遺構をリアルに体感できる VR 体験では、子ども連れの家族が楽しむ姿が多く見られた。

また、県内の他城郭（グスク）との連携企画として、沖縄県立博物館・美術館の歴史担当学芸員による、県内ブース巡回ツアーを実施した。

今回は会場 3 階にも首里城の特設コーナーが設置され、学芸員や首里城解説員によるミニ講座を実施し好評を博した。



学芸員による県内ブースツアー



解説員によるミニ講座

YouTube 動画コンテンツの公開

目的

2026 年秋の正殿完成を目指して復元工事が着々と進む中、国と連携して首里城の魅力や復興現場の様子を分かりやすく伝える YouTube 動画コンテンツを制作し、復興の軌跡を伝えることで首里城復興への気運を高め、「見せる復興」を広く PR し誘客に繋げる。

概要

YouTube 動画コンテンツを通じて、首里城公園の見どころや復興の様子を発信した。R6 年度はライブ配信を含む合計 12 本公開。

〈首里城 YouTube チャンネル URL〉

<https://www.youtube.com/channel/UCECHL1yK1ttS9acFsC9sINQ>

R6 年度 YouTube 動画コンテンツ 公開一覧 (回)

公開日時	タイトル	内容	再生回数
4月1日	首里城正殿復元現場のいま～木材倉庫・原寸場と素屋根【令和6年3月4日撮影】	正殿復元工事（令和6年3月4日）の様子	2,645
9月7日	首里城正殿復元現場のいま～唐破風の取付【令和6年5月9日撮影】	正殿復元工事（令和6年5月9日）の様子	2,633
9月30日	いちゃりばちょーで一隊参加者募集中！	いちゃりばちょーで一隊の募集案内	358
10月28日	1026 首里城公園オンラインツアー（限定配信）	オンラインツアーの様子を限定公開	-
10月28日	内法額木（うちのりがくぎ）を搬入しました。	首里城正殿御差床の内法額木の搬入の様子	451
10月31日	首里城復興祭 2024_CM	令和6年度「首里城復興祭」のCM	2,193
11月1日	#SYURINOUTA by バイオリニスト竜馬さん、5th Elements 他、城西小学校のみなさん	城西小学校の合唱の様子	647
12月24日	ダイジェスト：第1回首里城講座「首里城の御嶽と神女の祭祀行事～百人御物参を中心に～」	首里城講座の内容の一部を公開	364
12月25日	城西小学校「SYURI NO UTA」合唱 & 首里城基金贈呈式	城西小学校の首里城基金贈呈式と合唱の様子	261

12月28日	首里城に会いたくて～Vol. 18～	令和と平成の復元の違いを復興の現状と共に紹介	5,063
1月10日	【首里城復興祭 2024】VR体験開催しました。	首里城復興祭で企画されたVR体験の様子	254
2月7日	【2026年秋・首里城正殿完成予定】今しか見ることのできない首里城を見に行こう	2026年秋の首里城正殿完成を目指し「見せる復興」をテーマに進められている復元工事の様子	195,738
3月22日	【首里散歩】首里駅～龍潭通り～首里城公園へ	モノレール首里駅から首里城までの史跡巡り	338



YouTube画面（参考）

首里城通信 御城だより（うぐしくだより）

目的

首里城公園の広報誌として、首里城正殿復元整備工事の進捗や首里城基金を活用した美術工芸品の修復状況を伝えるとともに、沖縄の歴史文化の普及・啓発、及び首里城の魅力を広く広報することで沖縄観光へ寄与し、誘客へ繋げることを目的とする。

概要

「首里城美術工芸品」をテーマに、琉球文化財研究室と連携し首里城基金を活用した修理と復元製作の内容を紹介した。美術工芸品の魅力とともに、修理・復元の技術を紹介する構成とした。園内、観光情報センターでの配布の他、冊子の発刊と併せてWEB版を首里城公園ホームページに掲載し、バックナンバーも閲覧できるよう汎用性を高めた。

R6 年度発刊実績

御城だより Vol. 19 2月

御城だより Vol. 20 3月



御城だより Vol. 19 表紙



御城だより Vol. 20 表紙



紙面内容



紙面内容

首里城公園フォトコンテスト「私の好きな首里城フォトコンテスト 2025」

目的

首里城を訪れたお客様に、旅行後の期間も楽しんでいただけるよう、来園時に撮影した写真を投稿してもらい、首里城での思い出をより印象深いものにするとともに、投稿者以外のお客様とも共有することで公園の魅力を広く伝え、誘客促進につなげる。

概要

《募集期間》

令和 7 年 3 月 7 日（金）～3 月 21 日（金）

《テーマと応募方法》

令和 6 年 4 月 1 日（月）～令和 7 年 3 月 21 日（金）の撮影期間を対象に、「私の好きな首里城フォトコンテスト 2025」をテーマとして、首里城正殿の復元工事の様子、公園内の風景、四季折々の自然、イベントなど、首里城公園で撮影した写真を募集した。

応募方法は、専用フォーム（首里城公園の HP）、または首里城公園の Instagram アカウントをフォローし、ハッシュタグ「#私の好きな首里城フォトコンテスト 2025」をつけて上記期間内に投稿してもらった。

《応募数》

応募者数：121 名 応募作品：387 点

《審査と発表》

投稿された写真は、首里城公園スタッフによる厳正な審査を経て、10 名の入賞者が決定し、その結果は令和 7 年 3 月 29 日（土）に首里城公園 HP や SNS で発表し、公園内に掲出した。

入賞作品は、親方賞 2 名、親雲上賞 3 名、里之子賞 5 名が選ばれ、受賞者には首里城公園年間パスポート、優待券、オリジナルグッズが贈られた。

受賞作品



親方賞(1)



親方賞(2)



親雲上賞 (1)



親雲上賞 (2)



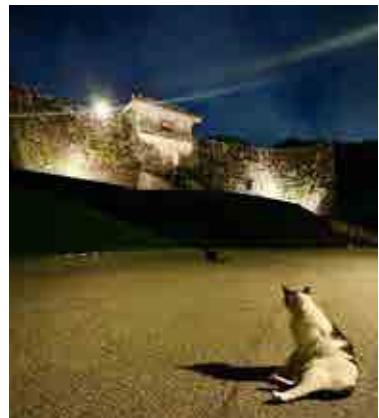
親雲上賞 (3)



里之子賞 (1)



里之子賞 (2)



里之子賞 (3)



里之子賞 (4)



里之子賞 (5)

(7) 行催事

首里城公園 ゴールデンウィーク体験イベント

目的

ゴールデンウィーク期間中に、子ども向けの体験要素と学習要素の高いプログラムを提供し、親子で楽しみながら、琉球王国が育んだ歴史文化の魅力について学んでいただくことを目的とする。

概要

《期間》 令和6年5月3日（金）～5日（日）

《場所》 首里城公園内全域

総括

体験要素の高い「漆喰絵付け体験」「首里城正殿ぬりえ体験」「紅型コースター染付け体験」など親子で楽しみながら学べるプログラムを実施した。

また、新規プログラムとして「金細工お守り作り体験」や、復元工事で発生した端材を活用した「端材 de DIY 体験」を実施し、親子で楽しみながら、沖縄の文化や首里城復興に触れるイベントを実施し好評を得た。



琉球張り子絵付け体験



漆喰絵付け体験



首里城正殿ぬりえ体験



端材 de DIY 体験



こども御開門式



琉球音楽演奏会



紅型コースター染付け体験



金細工お守り作り体験



謎解きゲーム

首里城公園 夏休み体験イベント

目的

夏休み期間中に、「親子で楽しめる」を主眼に、体験要素と学習要素の高いプログラムを提供して、琉球王国が育んだ歴史文化の魅力を多くの子供たちに伝えることを目的とする。

概要

《期間》 令和6年8月2日（金）～25日（日）

《場所》 首里城公園内全域

総括

今年度は、夏休み期間中にいつでも参加できるようプログラムを分散して実施し、多くの来園者に楽しんでもらった。また、屋外テントを立てず室内で開催することで暑さ対策にもなり、利用者からも「涼をとることができた」と好評だった。また、新規プログラムとして「ワークショップ面獅子・面ドラゴン作り体験」を実施し、沖縄の文化や伝統に触れながら、夏休みの自由工作として楽しんでもらった。



首里城正殿ぬり絵体験



面獅子・面ドラゴン作り体験



サンセットガイドツアー



琉球音楽演奏会



こども御開門式



紅型コースター染付け体験



首里城オリジナルちょうちん作り体験



琉球菓子くんぺん作り体験

首里城復興祭

目的

琉球文化の普及啓発、沖縄の観光振興に加えて、首里城復興の気運を高めるため国や県、地域との連携により各種催事を展開することで、沖縄の歴史文化の発展、県民の方々へ首里城復興に想いを馳せる機会の創出、地域の発展に寄与することを目的とする。

概要

《期間》 令和6年11月2日（土）～4日（月・振休）

《場所》 首里城公園及び首里城公園周辺並びに那覇市国際通り

《連携団体》 那覇市、首里振興会、沖縄県、琉球新報社、地域団体等

総括

今年は、7月28日に琉球新報ホールで国王・王妃選出大会を開催し、8月15日に授与式を実施。さらに、10月17日には首里城復興PRを行い、うむいの燈プロジェクトと広報連携を進めたことで、積極的な広報展開が実現し、多くのメディアに取り上げられた。

11月2日には、うむいの燈プロジェクトのランタンウォークが開催され、首里杜館のステージやキッチンカーが賑わいを見せた。翌3日には1万人を超える来場者が訪れ、「琉球王朝祭り首里 古式行列」が実施され、国王・王妃による「国王御三ヶ寺参詣行列」の再現に多くの観覧者が見入った。「琉球王朝絵巻行列」では、総勢約400人が国際通りを華やかに練り歩き、新たな取り組みとして「いちゃりばちょーで一隊」を企画し、38名が手踊りを披露した。

琉球芸能公演では、甦る首里城を守る会による古典芸能に加え、沖縄シニアヒップホップダンススクールのパフォーマンスが披露され、特別ゲストのバイオリニスト竜馬氏が「SYURI NO UTA」などを演奏し、観客を魅了した。また、首里城復興特別見学ツアーでは、正殿復元工事が行われている素屋根の内部見学が可能となり、受付開始から数時間で定員に達する人気ぶりを見せ、専門家の解説を通じて参加者の理解が深まった。

今後も地域の協力を得ながら、より多くの市民や観光客が参加できる取り組みを進め次回以降のイベントをさらに魅力的な祭典へと発展させていく。



国王・王妃出御



首里城復興特別見学ツアー



琉球王朝祭り首里「古式行列」



首里城復興祈念ステージ



琉球王朝絵巻行列



琉球芸能公演



こども御開門式



首里城 VR 体験



琉球泡盛の粋 in 錢蔵

令和 6 年度 「組踊ワークショップ in 首里城」

目的

国指定重要無形文化財・ユネスコ無形文化遺産である「組踊」の認知度向上と、沖縄の伝統芸能を資源にインバウンド客を始めとする観光客の誘客を目的とする。

概要

- 《期間》 令和 6 年 12 月 7 日（土）
- 《時間》 15:00～16:00
- 《場所》 国営沖縄記念公園 首里城地区 世誇殿
- 《主催》 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

総括

国立劇場おきなわと連携し、「組踊ワークショップ in 首里城」を世誇殿で開催した。令和 5 年度には持込みイベントとして 3 回開催したが、今年度は県復興イベントの一環として初の組踊イベント開催となった。ワークショップでは沖縄伝統組踊「子の会」による実演解説及び唱えの体験と、通訳による組踊の歴史、所作等の解説、また映像による組踊のダイジェスト映像の投影もあった。観覧者が参加してこねり手を使った手遊びを行う場面もあり、沖縄の文化を学び体験できる参加型のワークショップとなった。

実施時間は 1 時間程度だったが 70 名近くの観覧者がおり、外国人の観覧者も 10 数名程おり、通訳による解説が非常に効果的だった。



映像を用いた解説の様子



手遊びを行う様子



三線を奏でる様子



通訳による解説を行う様子

首里城公園 新春の宴

目的

正月儀式「朝 拝御規式」の一部紹介や、国王・王妃出御を披露するとともに、琉球舞踊や古典音楽により首里城らしいお正月の雰囲気を演出することで、沖縄観光及び首里地域の活性化に寄与することを目的とする。

概要

《期間》 令和7年1月1日（水）～3日（金）

《場所》 首里城公園全域

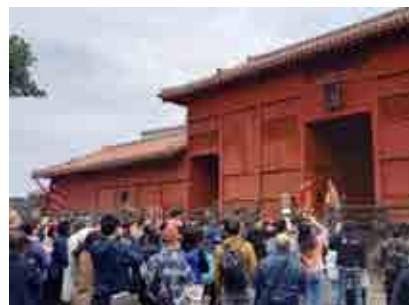
《連携団体》 沖縄県立芸術大学、首里振興会、琉球王朝禮楽研究会

総括

正月儀式「朝拜御規式」の一部再現、「国王・王妃出御」や「御座樂演奏」、「琉球芸能の宴」を披露し、新春の首里城にふさわしい厳かな雰囲気を演出した。体験プログラムとして実施した「お正月書初め体験」や「端材 de つくろう」は、前年に続いて全て完売となるほど多くの来園者に好評であった。また、前年は首里城公園友の会限定で試行し好評だった「首里城で迎えよう！初日の出見学会」を、今年度は正式なイベントプログラムとして一般来園者へ公募を拡充し実施した。



朝拜御規式



国王・王妃出御



御座樂演奏



琉球芸能の宴



こども御開門式



端材 de つくろう



朝拝御規式映像上映



お正月書初め体験



首里城で迎えよう！
初日の出見学会

首里城公園「華みぐい」

目的

沖縄を訪れたお客様に色鮮やかな花々でおもてなしする「沖縄花のカーニバル 2025」の開催に併せて、首里城公園においても花で装飾し、花をテーマにしたプログラムを連携イベントとして実施することで、公園利用促進及び来園者の満足度向上を図ることを目的とする。

概要

《期間》 令和 7 年 2 月 15 日（土）～3 月 31 日（月）

《場所》 守礼門～歓会門、世誇殿、首里杜館ガイダンスホール

総括

沖縄県の「沖縄花のカーニバル 2025」に併せ、園内（守礼門～歓会門前）をブーゲンビレアなどの花を用いて華やかな装飾を施し、入園促進及び来園者の満足度向上を図った。

期間中の関連イベントとして、首里城学芸員と植栽担当者による「歴史植物ガイドツアー」や、首里杜館ガイダンスホールで「首里城の植物 デザイン展」の解説展示、世誇殿のモニターで「首里城の植物たち」や「百人御物参」の映像を上映し、植物にまつわる琉球文化の普及啓発を図った。



園内草花装飾（守礼門付近）



園内草花装飾（歓会門付近）



歴史植物ガイドツアー



首里城の植物たち（映像上映）



守礼の花道ポスター展



ポスター展（オンライン）

(8) 見せる復興

首里城復興ワークショップ

目的

イオンワンパーセントクラブが主催する「首里城復興支援展（巡回展）」と連携し、県外イオンモールでのワークショップを実施。首里城正殿の復元工事で出た端材を使った「ストラップ作り」や宮大工職人による「かんな削り体験」を通して、首里城復興の取り組みを全国に広くPRする。

概要

《日程・会場》

- 令和6年11月23日(土)、24日(日) 10:00～17:00 イオンモール白山(石川県)
令和7年2月22日(土)、23日(日) 10:00～17:00 イオンモール日の出(東京都)
令和7年3月15日(土)、16日(日) 10:00～18:00 イオンモール常滑(愛知県)
令和7年3月22日(土)、23日(日) 10:00～18:00 イオンモール太田(群馬県)

《内容》

【ストラップ作り体験】

首里城公園お正月イベント「新春の宴」で実施した「端材でストラップを作ろう」をアレンジし、琉球王国時代をモチーフにした6種類のデザインを用意した。

正殿ヒノキ端材に好きな文字や絵を描き、自分だけのオリジナルストラップを製作する。

【かんな削り体験／木組みの展示】

正殿の復元工事に携わった宮大工職人の指導のもと、参加者には端材を用いたかんな削りを体験。削った木材(正殿の御材木)は、記念品として持ち帰ることができる。また、正殿の木材を用いた木組みの実物展示も行い、来場者に日本の伝統建築技術の一端を紹介した。

※イオンモール常滑、太田のみ実施

総括

ストラップ作り、かんな削り体験(常滑、太田のみ)とともに多くの来場者が詰めかけ、待機列ができるほどの盛況ぶりであった。

正殿復元工事に携わっている宮大工職人とともにワークショップを開催し、首里城復興の取組を広くPRすることができた。

参加者の中には、実際に首里城の復元工事を見学したことがあるという方も多く、また、沖縄旅行を予定している方々からは、「復元工事を見に行きたい」といった声も多数寄せられるなど、首里城復興への関心の高さがうかがえた。

かんな削り体験には、幼児からご年配の方まで、幅広い年齢層の方々にご参加いただいた。

特に、お子様が体験する様子を保護者が写真や動画で撮影しながら楽しむ姿が多く見られ、「宮大工の技術を体験できて、とても良い思い出になった」との声が多数寄せられた。また、今回は木組みの実物も展示したところ、来場者から非常に高い関心が寄せられ、日本の伝統建築技術への関心の高さが改めて確認できた。



イオンモール白山



イオンモール日の出



イオンモール常滑



イオンモール太田

首里城公園事業年報 第6号 令和7年5月 作成

発行所 一般財団法人 沖縄美ら島財団

沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地

電話 098-886-2020 (代)

編集兼発行人 湧川 盛順



首里城正殿復元工事の様子 R7年3月

